市町村研修担当者に聴く

～第17回～

２０１９年4月1日号

研修センターでは、「市町村自らの手による自らの研修実施」という基本理念のもと、各種研修機会の提供のほか、研修情報の提供、市町村等の自主的な取り組みについて積極的な支援を行っていきたいと考えています。
そこで、市町村等における実際の取り組みや研修業務に対する思いについて紹介をします。

恵那市役所　総務課　柴田　恵理子　さん

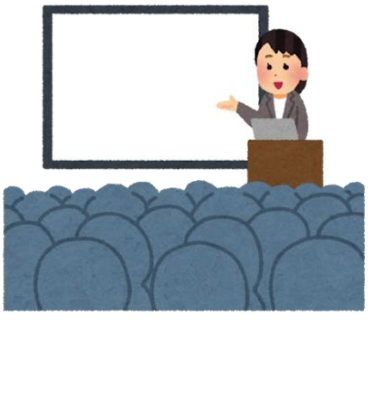
◎恵那市の人材育成で特徴的であることや、特に重視している点について？

恵那市では、「人材育成基本方針」のなかで目指すべき職員像として①高い倫理観を持った職員②市民の立場で考え行動する職員③広い視野と先見性を持った職員④自ら考え責任を持ち挑戦する職員⑤コスト感覚を持った職員の5つを掲げ、人材育成に取り組んでいます。

◎恵那市が単独で行っている研修や取り組みは、どのようなことがあるか教えて下さい。

恵那市では、独自研修として外部講師を招いて会議能力の向上、プレゼンテーション研修など12講座を実施しております。また、内部講師研修として接遇の向上研修、業務遂行実務研修を平成30年度より実施しました。
他には、商業施設への派遣研修や自衛隊体験入隊を行っています。
商業施設への派遣研修は、採用2年目の職員を市内の道の駅に5日間派遣しています。
自衛隊体験入隊は、平成30年度より新たに実施しました。こちらは1年目の職員を対象に、お互いの協力や団体行動の大切さを学ぶとともに、訓練を通して強い精神力や団結心を育成することを目的に2泊3日で各務原市にある航空自衛隊に体験入隊しました。体験入隊した職員からは、参加してとても良かったという意見が多く、今後も実施していきたいと思っています。

◎研修センターでの研修をどのように活用されていますか？



新規採用職員研修や係長級職員研修などの役職ごとの階層別研修は全て活用しています。階層別研修では、グループワーク等があり他の自治体との交流という面でも大変有効であると考えています。
また、パソコン研修等市単独で行うことが難しい研修については活用させていただいています。

◎研修担当者として今後どのような研修を開催したいと考えていますか？

職員の意識改革や資質の向上につながるよう、研修内容を考えていきたいと思います。

また、職員がメンタル不調にならずに働き続けることができるよう、メンタルヘルスケアにも力を入れていきたいです。

◎研修担当者として心がけていることは？

最初にお話をした人材育成基本方針の目指すべき5つの職員像に沿って、人材育成に取り組んでいます。

編集部より

業務のお忙しい中、インタビューをお引き受けいただきありがとうございました。恵那市では、人材育成基本方針に沿って熱心に職員の育成に取り組んでおられる様子が伺えました。パソコン研修については、岐阜県市町村行政情報センターが各市町村での出前パソコン講座を開催しておられますので、当研修センターのパソコン講座を受講できなかった場合は、行政情報センターの研修を検討されてはどうでしょうか。